

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年8月19日（水）

2 確認箇所

メガフロート（1～4号機取水路開渠内）

3 確認項目

メガフロート津波等リスク低減対策工事の進捗状況

4 確認結果の概要

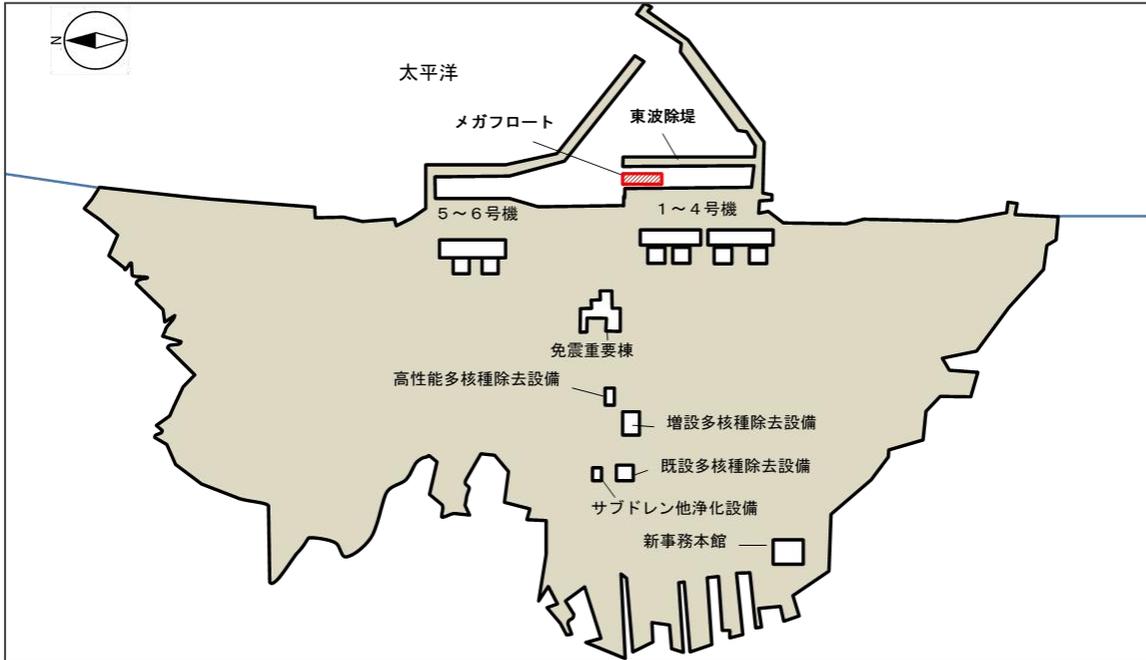
メガフロート津波等リスク低減対策工事^{*}は、今年4月に開始されたメガフロート内部へのモルタル充填作業が8月3日に完了したことから、現況を確認した。（前回確認：[令和2年4月9日](#)）（図1）

- ・メガフロート上にあった建造物やウインチ等は撤去されており、メガフロート上に開けられたモルタル充填口は閉塞されていた。（写真1、2）
- ・現地確認時には作業は行われていなかったが、メガフロート南西側に砕石（人工地盤材料）が投入されており、メガフロート西側と海側遮水壁との間を埋め戻す工事が開始されていた。（写真3）

なお、メガフロート北側港湾内には、汚濁防止フェンスが引き続き設置されていた（写真4）

※メガフロート津波等リスク低減対策工事

メガフロートは東日本大震災により発生した5・6号機建屋滞留水を一時的に貯留するために活用されたが、津波漂流物となり周辺設備を損傷させるリスクがあることから、メガフロートを1～4号機取水路開渠内に着底させて護岸及び物揚場として活用するための工事が平成30年11月から進められている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
メガフロート北側の状況 (前回(4月9日)西側から撮影)



(写真1-2)
メガフロート北側の状況 (今回(8月19日)西側から撮影)



(写真2)
メガフロートの状況
(メガフロート中央部を北西側から撮影)



(写真3)
砕石による埋め戻しの状況
(北西側から撮影)



(写真4)
メガフロート北側の汚濁防止
フェンス設置状況
(東側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。